

タスク	2021年度												2022年度以降
	第1 四半期			第2 四半期			第3 四半期			第4 四半期			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
原子力規制委員会	▼報告(四半期)			報告(四半期)			報告(四半期)			報告(四半期)			報告(四半期)
検査制度に関する意見交換会合	▼報告(総合的な評価) ▼第6回									▼第7回			▼第8回
制度及び運用の改善検討													
1 原子力規制検査の事業者の取り組み<新規>													
(1)CAPシステムの運用状況<事業者>													
①CAPシステムの概要	▼関電、九電									▼四電、中国電、北陸電			▼東北電
②1年間の運用実績	＜事業者＞CAPシステムの運用状況(各回2～3社(電力会社から順次))												
③1年間の運用実績を踏まえた課題と改善													
④その他													
(2)自主PIの取組状況<事業者>													
※3.(4)と関連	＜事業者＞自主PIの取組状況(適宜、取組状況の確認)												
2 原子力規制検査の運用状況の確認													
①原子力規制検査の四半期報告	▼第4四半期報告									▼第1、2四半期報告			▼第3四半期報告
②原子力事業者からの意見	四半期報告(四半期ごと)												
③総合的な評価	▼令和2年度総合的な評価												▼令和3年度総合的な評価
3 当面の課題													
(1)検査制度を継続的に改善する仕組み													
a. 継続的な改善の運用	▼ガイド案の提示(第2段階)			▼事業者等からの意見						▼事業者等からの意見			▼令和3年度総合的な評価
	【中長期】制度の継続的改善に係る自己評価指標の設定(検査制度に係るパフォーマンス指標、制度目的の達成度)												
	▼ガイド案の提示(第2段階)			▼事業者等からの意見						▼事業者等からの意見			▼令和3年度総合的な評価
	インプット情報*の収集、評価(適宜、意見交換会合等で収集)												
	改善の検討												
	継続的な改善の運用												
	※①検査官からの直接的意見、②本庁による現場調査等、③事業者からの直接的意見、④第三者からの意見(学協会等)、⑤海外等情報、⑥原子力安全に係る新知見等												
b. 検査官の意識調査	▼課題と改善案、ガイド類への反映						▼課題と改善案、ガイド類への反映						
	検査官の意識調査(アンケート等の実施、分析・評価)												
(2)核燃料施設等の重要度評価手法													
a. 核燃SDP 再処理、加工・試験研究炉	▼議論			▼試運用の中間報告と簡易評価の修正案						▼ガイド類への反映			▼規制対応の上限に係る議論
	評価手法の検討/加工施設による試運用												
	他施設の検討												
(3)PRAモデルの活用拡大													
a. レベル1 PRA 適切性確認	柏崎刈羽7、高浜3/4、川内1/2ほか(適宜、確認状況の報告)												
	＜事業者＞PRA適切性確認における指摘事項等の取組状況の確認(適宜、確認状況の報告)												
b. レベル1.5PRA 適切性確認	大飯3/4、玄海3/4(適宜、確認状況の報告)												
c. リスク評価の範囲拡大	溢水、地震等の外的事象にかかるリスク評価手法の検討(適宜、確認状況の報告)												
(4)横断領域													
a. 原子力規制検査での横断領域の取扱い	NRCの検討状況												
	【中長期】原子力規制検査での横断領域の取扱い ※NRCの検討状況を踏まえる												
(5)執務環境の改善													
a. 外部有識者の方による現場視察	▼炉安審(1/14)						▼炉安審委員による現場視察						▼課題と改善案、ガイド類への反映(今回は反映なし)
	外部有識者の方による現場視察、意見交換、課題の抽出												
	改善の検討												
(6)検査に係る技術的事項の認識共有	必要に応じて、検査に係る技術的事項について議論												
(7)関係者とのコミュニケーションのあり方	関係者とのコミュニケーションのあり方の検討												
※新たな仕組みへ移行するまで、既存の仕組みで関係者とのコミュニケーションを継続													
原子力学会WGとの連携													
(1)原子力学会WGの状況	＜原子力学会＞検査制度の効果的な実施に関する検討WGとの連携(適宜)												